

再 評 価 調 査 書

I 事業概要					
事業名	道路事業				
地区名	主要地方道瑞浪大野瀬線 <small>みずなみおおのせ</small>				
事業箇所	愛知県豊田市大野瀬町				
事業のあらまし	<p>主要地方道瑞浪大野瀬線は、岐阜県瑞浪市から岐阜・愛知県境を越えて豊田市大野瀬町を結ぶ地域間幹線道路である。</p> <p>このうち当該工区は、大野瀬町の集落から国道257号、国道153号を結び、稲武地域の重要な生活幹線道路となっており、コミュニティバス（稲武地域バス）のルートにもなっているが、幅員狭隘のため車のすれ違いも困難な状況である。また、線形が不良で見通しが悪く、円滑な通行の妨げとなっている。</p> <p>このことから、建設部方針2020の11の取組方針の内「山間や離島などの暮らしを支える基盤整備」に対して、山間地域の道路網形成を促すとともに、県境を跨ぐ広域的な活動や交流を可能とし、地域活性化と救急・消防活動を支えるために、道路改良事業により主要地方道瑞浪大野瀬線の現道拡幅を行うものである。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1)山間や離島などの暮らしを支える基盤整備</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事前評価時 (2015)	再評価時 (2019)	変動要因の分析	
	事業期間	2015年度 ～2021年度	2015年度 ～2025年度	地元調整が難航したため	
	事業費（億円）	4.5	6.8		
	経費内訳	工事費	3.0	5.3	地元調整結果を踏まえた工法変更によるもの
		用補費	0.3	0.3	
その他		1.2	1.2		
事業内容	現道拡幅 延長L=1.3km 幅員W=5.0m 1車線	現道拡幅 延長L=1.3km 幅員W=5.0m 1車線			
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>(1)山間や離島などの暮らしを支える基盤整備</p> <p>【事前評価時の状況】 線形が悪く、幅員狭隘で車両のすれ違いが困難である。</p> <p>【再評価時の状況】 依然として、線形が悪く幅員狭隘な区間があり、車両のすれ違いが困難であるため、事業の必要性は高い。</p> <p>【変動要因の分析】 事業採択時と現在の状況に変動要因はなく、引き続き整備の必要性がある。</p>			
	判定	B	<p>A：事業着手時に比べ必要性が増大している。</p> <p>B：事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。</p> <p>C：事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p>		

	<p>【理由】 道路の必要性に変化はなく、引き続き整備が必要である。</p>																																																																																																																									
②事業の進捗状況及び見込み	<p>1) 進捗状況</p> <p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2015</th> <th>2016</th> <th>2017</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="4">←—————→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td colspan="4">←—————→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td colspan="4">←—————→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費(億円)</td> <td>当初計画</td> <td colspan="3">2.8</td> <td colspan="3">1.7</td> <td colspan="3"></td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="3">2.8</td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3"></td> <td>2.8</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td colspan="3">2.8</td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3">4.0</td> <td>6.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>進捗率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>1.3</td> <td>0.6</td> <td>46</td> <td>1.3</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>2.8</td> <td>2.8</td> <td>100</td> <td>6.8</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>1.3</td> <td>2.2</td> <td>169</td> <td>5.3</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>0.3</td> <td>0.1</td> <td>33</td> <td>0.3</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>1.2</td> <td>0.5</td> <td>42</td> <td>1.2</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table> <p>※用地進捗率(面積ベース)は、約85%</p>			2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	合計	工種区分	調査・設計	←—————→										用地補償	←—————→										工事	←—————→										事業費(億円)	当初計画	2.8			1.7						4.5	実績	2.8									2.8	今回計画	2.8						4.0			6.8		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】	延長(km)	1.3	0.6	46	1.3	46	事業費(億円)	2.8	2.8	100	6.8	41	工事費	1.3	2.2	169	5.3	42	用補費	0.3	0.1	33	0.3	33	その他	1.2	0.5	42	1.2	42
			2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	合計																																																																																																														
	工種区分	調査・設計	←—————→																																																																																																																							
		用地補償	←—————→																																																																																																																							
		工事	←—————→																																																																																																																							
	事業費(億円)	当初計画	2.8			1.7						4.5																																																																																																														
		実績	2.8									2.8																																																																																																														
		今回計画	2.8						4.0			6.8																																																																																																														
		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																																					
		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】																																																																																																																				
延長(km)	1.3	0.6	46	1.3	46																																																																																																																					
事業費(億円)	2.8	2.8	100	6.8	41																																																																																																																					
工事費	1.3	2.2	169	5.3	42																																																																																																																					
用補費	0.3	0.1	33	0.3	33																																																																																																																					
その他	1.2	0.5	42	1.2	42																																																																																																																					
2) 未着手又は長期化の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・用地補償や交通規制等の地元調整が難航したため。 																																																																																																																									
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元自治体より早期整備が要望されていることから、今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しであり、事業の実効性が確保されているため。 <p>【今後の見込み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度までに整備が完了する予定である。 																																																																																																																									
判定	<p>B</p> <p>A：事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。 B：次のいずれか(該当する項目に「○印」を付ける)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>○これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</p> <p>C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>																																																																																																																									
	<p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も多少の阻害要因が見込まれるものの、一定期間を要すれば解決できる見通しであり、2023年度までに整備完了が見込まれるため。 																																																																																																																									
Ⅲ 対応方針(案)																																																																																																																										

継続

中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。

継続：上記以外のもの。

IV 再評価実施の有無と主な評価内容

■対象（事業完了後 年目） 対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

—

【主な評価内容】

・道路拡幅による交通の円滑化状況、視距確保による交通安全性の向上状況。